

# 高齢者の生きがづくり

## ～行橋市民大学講座の取組～

行橋市 中央公民館（公立公民館） 館長 本吉 謙一郎

### ○ 行橋市の概要と特色

本市は、福岡県の北東部に位置し東西に14km、南北に約9kmで東は周防灘に面している。市域は、北九州市小倉南区、苅田町、みやこ町、築上町の1市3町に境を接し、面積は69、83km<sup>2</sup>、人口は平成26年6月末現在で、72,820人、世帯数は、30,703世帯となり、公立公民館12館、小学校11校、中学校6校を有しています。（高齢者65歳以上が、約26%強18,960人）

本市は、平成24年に第5次行橋総合計画を策定し、目指す都市像を「魅力がいっぱい人が集まる パワフル ゆくはし」、をキーワードに基本目標を設定し推進している。

#### 1. 事業名 「行橋市民大学講座」

#### 2. 事業の目的

変化の激しい時代における生涯学習の一環として、市民の学習ニーズを考慮しながら継続的、組織的な学習の場を設けることによって自主的に学ぶ意欲を喚起し、各講座を通して教養を高め、学ぶ仲間の輪を広げることを目的として開設する。

#### 3. 事業の実施主体

主催：行橋市教育委員会生涯学習課 主管：中央公民館

#### 4. 事業予算 （40万円）

#### 5. 事業の概要

##### 1) 具体的な運営と講座の実際

##### ○事務局（企画運営）

市民大学の学長は教育長で、事務局長は生涯学習課課長です。

実際の企画運営は、事務局員、『社会教育指導員（2名）と中央公民館の職員（3名）』が担当している。

講座の趣旨を念頭に企画しているが、講座の内容・講師の選定が市民大学の是非を左右すると考えている。講師交渉がうまくいき、決定すれば、市民大学の大半は出来上がり一安心ということになるが、予算との関係、地域の人材を発掘し活用する条件の中、苦慮しているのが現状です。

### ○受講生の募集(応募者)

- ・募集は前期・後期の年2回実施している。1ヶ月前に市報（市役所広報課から月2回発行）で受講生を募集（約2週間の募集期間）している。以前は応募者多数の場合は抽選で受講生を決定。現在は申込み順で定員になり次第決定している。
- ・募集人員35名及び70名にしている。（研修視察時 市のバスを利用）
- ・聴講生の制度あり  
受講もれ者や市外の希望者を対象に実施している。
- ・応募資格は行橋市在住者又は在勤の方としている。

## 2) 市民大学講座の経緯

○昭和58年度に行橋市民大学講座が開設される。

・学長（市長） 副学長（教育長）市長が学長ということで、取り組む姿勢が感じられます。（平成2年度から教育長が学長になり現在に至る。）

・受講生の対象は、行橋市在住で、30才～60才代まで。

（途中から59才までとなっている。）

・講座の学習内容と回数（例：平成3年度では）

学習内容 「楽しい仲間づくり」「時事問題」「かしこいミセスのファッション」「電気器具の取扱い」「共に悲しむ」「どの子も伸びる必ず伸びる」「食べ物と漢方について」「上手な相続のしかた」

期 間 昭和58年度～平成4年度までは、ひとくくりで年間（7月～11月）に10回程度の回数（研修視察を含む）で実施される。

○平成5年度から

・前期と後期の2期開催になる。講座も細分化され現在のように実施される。

【例：平成5年度前期では】

講座期間（6月～10月） 10回

開設講座（レディースゆくはし62名・青少年育成講座54名・アカデミーinゆくはし19名・ふるさと歴史講座93名）

講座内容と講師（パワーポイントで説明）

【後期では】

講座期間（11月～3月） 7回

開設講座（アカデミーinゆくはし38名・YYゆくはし45名）

講座内容と講師（パワーポイントで説明）

○平成26年度では

【前期では】

講座期間（5月～7月） 8回（1日2時間 10:00～12:00）

開設講座（生きがい・まちづくり29名・歴史ロマン探訪63名）

講座名と講師について（パワーポイントで説明）

【後期では】

講座期間（10月～11月） 8回

開設講座（歴史ロマン探訪講座40名・男の美学 女の美学講座60名健康ライフ講座24名）

・会場準備や後片づけ、出欠確認、学習記録等は、受講生で役割分担し、自主的に学習を深めている。

・受講生は66才以上～80才が多い。

・今年で32年目を迎えている。

## 3) 趣旨・目的の変遷

○昭和58年度

現代社会に対応し、これからの時代によりよく生きるため行橋市民としての誇りと連帯感を高め、生涯教育として今日的課題をテーマに設定し、講座を通じ知識と技能を習得し、明るい豊かな家庭・地域社会・行橋市づくりを推進するために開設する。

#### ○平成5年度

社会的環境条件の変化の中で、生活の向上や自己充実を図り、人生を生きがいあるものにするための生涯教育として、意義のあるテーマを設定して講座を開設する。

#### ○平成26年度

変化の激しい時代における生涯学習の一環として、市民の学習ニーズを考慮しながら、継続的、組織的な学習の場を設けることによって自主的に学ぶ意欲を喚起し、各講座を通して教養を高め、学ぶ仲間の輪を広げることを目的として開設する。

#### 4) 講座名と講座内容の変遷

「ワープロ教室」から「パソコン講座」へ、「イキイキ健康講座」から「すこやかライフ講座」へ、さらに「健康ライフ講座」へ。「またふるさとの歴史講座」から「歴史ロマン探訪講座」へと、その時その時のニーズに応えながら変わってきており現在に至っている。

#### 5) 事業の成果と課題

##### 【成果】

今では、市民大学講座も定着し、受講生の半数以上はリピーターですが、関心は非常に高くなっている。

〈平成24年度アンケート調査より〉

- ・行橋市に引っ越してきたばかりでしたが、講座をきっかけに友人ができ、不安解消につながり喜んでいる。
- ・若返り、健康維持に効果があった。
- ・いろいろな方と顔見知りになり、楽しかった。
- ・実技を伴う講座がわかり易く記憶に残り、楽しく学習できた。
- ・ふるさとを再発見できたことが、大変良かった。
- ・研修視察が良かった。

##### 【課題】

多くの要望が毎年のように出されている。しかし、予算等の関係で講座内容、講師の選定に苦慮している。

- ・講座数、講座時間、講座期間を増やしてほしい。
- ・館外研修を多く希望したい。
- ・受講生同士のふれあいの場がほしい。
- ・質問の時間を取ってほしい。

#### ○おわりに

多くの方々に喜ばれ、目的が達成されていると感じている。以前に比べ、応募者の人数が減少傾向にある中で、「歴史ロマン探訪講座」「男の美学・女の美学講座」は多くなっている。リピーターが多く新規の受講生が少ないのが現状です。

以前は、退職された61歳からの新しい受講生が毎年のように応募されていたが、最近では65歳以下の方の応募が減少している。(高齢者の受講生が多くなっている)きっと、年金の関係で、第2就職される方が多くなった事が影響しているのではないかと考えている。

市民大学講座は、「学ぶ楽しみ、仲間づくり、生きがい」等、市民の要望も強く『良い講師による、魅力ある講座』を念頭に、学習内容や学習形態、学習方法等で工夫しながら、講座の充実を目指していきたいと考えている。